

大分都市広域圏、どう連携する

～ 5年間かけて協議する～



かわのゆうじ
川野優治

緑政会

質

大分都市広域圏の広域連携における公共施設の相互利用は。

答

市長

大分市はコンパルホールなどの文化施設や各公民館などの社会教育施設、市営陸上競技場などの社会体育施設を、インターネットを通して施設の予約ができるシステムを導入しています。連携市町が保有する施設も含め

た上で、相互利用できる予約システムを構築できないか協議・検討することを目的に部会を進めています。

大分市からは、公共施設の相互利用システムへの参入について、連携市町に対する意向確認がなされているところですが、予約に対する市民の優先度、使用料の取り扱い、新たなシステムへの移行に伴う利用者の戸惑いなど、課題が山積していることから、本市でも関係課内で慎重に検討しています。

質

一般廃棄物の広域処理はどうなるのか。

答

市長

ハード面での協議は県の示した処理計画に基づき、大分市、臼杵市、由布市、竹田市と本市の5市で協議を始めたところです。



清掃センター

答

環境衛生課長

協議では5市で1カ所清掃センターを設立したいということですが、今後協議を進めていきたいと考えます。

現在の清掃センターは平成39年までを目標とし、長寿命化を図ってきました。平成39年以降あの場合で清掃センターの業務を行うことは今のところ考えていません。

質

消防の広域的運営は。

答

市長

現在、大分県常備消防相互応援協定が県内消防本部で結ばれており、有事の際の協力体制が確立されていることから、このほかにもどのような取り組みがあるのか防災部会で協議を行っていく予定です。



ひろまさ とうえい 衛藤正宏

三岳会

本市では市民の声を市政に反映することを目的として、各種の広聴事業を実施しています。また、行政相談や苦情処理を行うことは、市民の権利、利益を守るとともに、行政制度の改善を図ることもつながります。少子・高齢化が進む中で、地域の考えをど

市としても、本年5月頃から再三にわたり、進捗状況や開業が遅れている理由等の説明を求めると同時に、早期に事業着手するよう指導しました。

答 市長

平成27年12月の定例会で議決された旧大野西部小学校の無償貸し付け（NPO法人豊後のひつぎ）について、事業の遅延について伺う。

質

質

行政への市民参加を促進する手段である市民の考え方や意見をどう取り上げていくのか、情報収集の在り方について伺う。

答 市長

市政に関する広聴活動は、市民の意見や要望を把握し、行政施策に反映させるものですが、行政への市民参加を促進する手段でもあります。



市政に関する広聴活動は

大きな課題と認識している

う取り上げていくのかということは、今後の市政運営の大きな課題であると認識していることから、今後とも各種広聴事業の充実、強化に努めていきます。

事業遅延の主な理由は、銀行等からの融資の手続きなどに想定以上の日数がかかっているとのことでした。11月に聞き取りの結果、

機械搬入の完了は11月23日、平成29年3月から商品の本格製造、4月から販売を開始したいと伺ったところです。



旧大野西部小学校